

# あいち農産物生産流通レポート

平成27年12月号

情報サロン		
・ジネンジョの省力的多収技術を開発	(農業総合試験場)	1
・インドネシア・マレーシア農産物流通状況調査の結果について	(食育推進課)	3
・あいちの農林水産フェアを開催しました	(食育推進課)	5
地域トピックス		
・“花半島事業フラワーフェスティバルin美浜”が開催されました	(知多農林水産事務所)	6
東日本情報		
・農林水産祭「実りのフェスティバル」の開催	(東京事務所)	7
西日本情報		
・愛知県内における中晩生かんきつの生産動向について	(園芸農産課)	9
フラワーページ		
・秋田県の園芸メガ団地育成事業(花き)の取組について	(秋田県農林水産部園芸振興課)	11
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		12
・名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し		13
花き		
・切花・鉢花の12月の見通し(県内市場)		25
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2015年9月)		29
関連指数		30

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ (03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課 (052)-954-6421

## ジネンジョの省力的多収技術を開発

農業総合試験場

### 1 はじめに

ジネンジョは数少ない日本原産の野菜で、栄養豊富なため「とろろ」など伝統食のほか、漢方薬にも使用されています。愛知県では、農業総合試験場山間農業研究所が育成した品種「稲武2号」（2004年品種登録）が主に栽培され、「夢とろろ（商標名）」としてブランド化され、販売されています。中山間地域では特産品としての価値が高いだけでなく、各地で「じねんじょ祭り」が開催されるなど、観光資源として地域活性化にも利用されています。

一方で、生産者の高齢化に伴い、生産量が年々低下してきています。産地の維持・発展には、作業労力の軽減と収益性の向上によって既存生産者の経営を持続させるとともに、新規生産者を増やすことが必要です。そこで、農業総合試験場は省力的で多収となる技術の開発に取り組みました。

### 2 開発した新技術の概要

ジネンジョ栽培では、栽培容器にクレバーパイプや波幅 32mm の波板などが使われています。新技術では、通常使用されるクレバーパイプや波板の代わりに、波幅 63mm の波板を利用し、この波板 3 波分を 1 栽培容器として、通常の 3 倍に密植栽培します。



図1 慣行法及び新技術を用いたジネンジョ栽培模型

- ・慣行法は、1栽培容器に種芋1株を定植。1栽培容器で1本の新生芋を収穫する。
- ・新技術は、1栽培容器に種芋を3株定植。1栽培容器を掘取れば、3本の新生芋が収穫できるため省力的である。

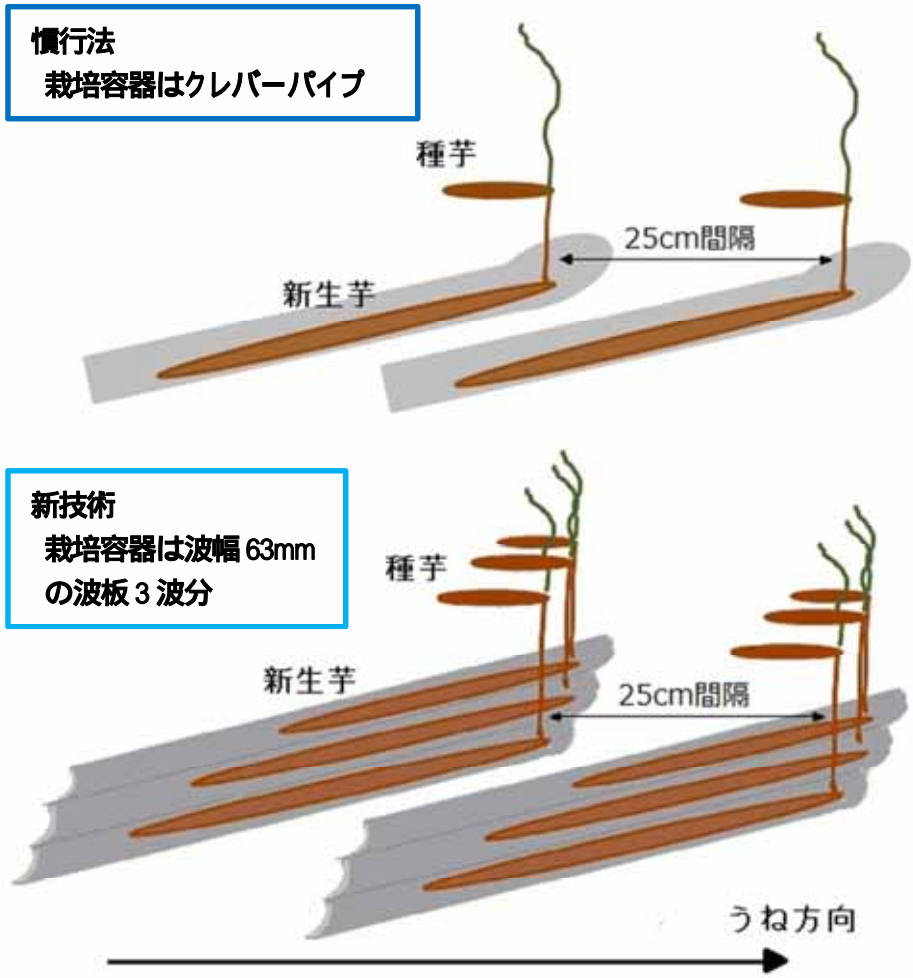




図2 ほ場における慣行法及び新技術による栽培様式の模式図

3 技術の特長

- (1) 省力的：1本あたり収穫時間が半減します。
- (2) 多収：単位面積あたり収量が倍増します。
- (3) 品質向上：芋の表皮がきれいで、芋の断面が円状に近く、外観品質に優れます。

表 栽培方法の違いによる省力化及び収量品質向上について

	慣行法 (クレパーパイプ栽培)		新技術 (波板による3倍密植栽培)	
作業時間(分/株)	2.0	➡	1.0	収穫時間半減
収量 (t/10a)	1.42	➡	2.89	収量倍増
芋の断面		➡		より円状に近く

愛知県は、平成 26 年の農業産出額が全国 7 位の農業県です。地元の名古屋という大消費地を抱えるとともに首都圏にも多くの農産物を出荷する食料の一大供給地という役割を担っています。また、食品製造業の出荷額が全国 3 位と全国有数の食品産業が展開している県でもあります。

しかしながら、国内では、人口減少による農林水産物及びその加工食品の市場縮小が懸念されています。

そこで、本県では、人口の増加と経済発展が見込まれているアジアを中心に愛知県産農林水産物及びその加工食品の輸出を促進する取組を実施してきました。この度、インドネシアとマレーシアにおいて農産物等の流通状況やイスラム教で許された物というハラールへの対応を平成 27 年 9 月 27 日から 10 月 1 日まで調査しました。両国において、ジェット口事務所、日本食品小売店、日本食レストラン、輸入事業者からヒアリング等を行ってまいりましたので、その結果を報告します。

## 1 インドネシア

インドネシアは、人口が約 2 億 4 千万人で、8 割弱がイスラム教徒です。人口 1 人当たりの GDP は 3,524 ドル(2014 年)で、中間層の人口が増加しつつあります。多くがイスラム教徒のムスリムですが、富裕層は人口の 5 % 程度の中華系となっております。

調査結果の概要は、次のとおりです。

政府は、景気低迷の原因である貿易赤字解消のため、食料については輸入を規制する方向にある。

日本産生鮮食品は少なく、醤油、味噌、お菓子、清涼飲料水、抹茶製品が売れ筋。加工食品は、輸入食品登録番号(ML 番号)の取得が必要だが、1 アイテムの ML 番号取得に 1 年から 1 年半かかり、輸入が進まない状況。

生鮮食品は海上輸送では陸揚げできる港が限定されており、輸入しにくい状況。日本産でないといけない高品質の果物や抹茶、だしの入った商品は可能性がある。

日本産食品を購入するのは中華系の富裕層であることから、ハラールについて輸入事業者、小売事業者ともに気にせず、ポークフリー等の情報提供で十分。



小売店の輸入お菓子の陳列



豚肉コーナーのノンハラールの表示

インドネシアへの農林水産物及びその加工食品の輸出は、規制が更なる強くなるとの見通しもあり、難しい状況と思われました。

## 2 マレーシア

マレーシアは、人口約3千万人で、イスラム教を国教としています。人口一人当たりのGDPは11,049ドル(2014年)と、インドネシアより高いです。富裕層は、インドネシアと同じく中華系が多く、日本産食品の購入対象は中華系になります。

調査の概要は、次のとおりです。

日本産農林水産物の輸入は、量、種類ともに多くはなかった。

日本産食品は、果物(メロン、桃、梨、ブドウ、みかん、いちご等)、緑茶、ラーメン、のり、ワカメ、味噌、水産加工品が売れ筋。

都道府県の知名度も、北海道を除きほとんどなく、品質の良い日本食品という認識しかなくされていない。

日本産食品は、高価格になるため購入者は中華系中心の富裕層。

ハラールに関してはインドネシアと同様の状況で、輸入事業者、小売事業者ともに気にしていない。ハラール認証取得のために障害になる場合があることや価格が上がってしまう事も考慮する必要がある。

小売店によっては、ムスリム向けにノンハラールコーナーを設定しているが、ポークフリーやアルコールフリーの表示による対応で十分と思われる。

マレーシアは、健康志向の高まりや高品質商品の要望などにより日本産食品への注目はさらに高くなると思われ、愛知県産を大きくアピールして輸出できる魅力的な国と思われました。



小売店Aの日本産食品(菓子類)の陳列とノンハラール製品のアナウンス



百貨店での日本産生鮮食品の陳列



小売店Bの輸入製品の注意アナウンス



小売店C ノンハラールコーナー入口

## あいちの農林水産フェアを開催しました

本県の新鮮で、安全・安心な農林水産物や、県産食材を活用した加工食品を県民の方々に広く紹介する「あいちの農林水産フェア」を、11月12日(木)から17日(火)まで名古屋市中区栄の丸栄で開催し、6日間で26千人の方が来場しました。

### 【 内 容 】

#### 1 県産農林水産物及び加工品の紹介・販売

54の企業・団体が出展し、「あいちのかおり」などの地元産米、ふき、れんこん、ぎんなんなどの旬の農産物や、三河湾産串あさり、県産小麦を使ったパンなど“県産食材”にこだわった加工食品が数多く出品されました。

また、イートインコーナーでは、本県のブランド力強化対象品目である、うなぎ丼や名古屋コーチンを使ったラーメン・親子丼・味噌煮込みうどんの販売のほか、抹茶をふんだんに使用したスイーツを味わうことができるカフェも登場し、来場者から好評を得ました。

#### 2 楽しく学べる主催者企画

日替わりイベントでは、ぬか漬け作りや蜜ろうキャンドル作り、松ぼっくり工作などの体験企画のほか、ふるまい餅、きのこ、ジビエの試食など、いずれの企画も好評でした。

また、大学生による地域食材を利用したおやつの販売や低アレルゲンおやつを試食などを実施し、会場内に活気があふれていました。

県のブランド力強化対象品目を紹介するためのクイズラリーには834名の参加があり、県民の方々へ効果的にPRすることができました。

本フェアの丸栄での開催は、23年度から5回目となりましたが、5年間で約17万人の県民が来場し、生産者と消費者の結びつきを強めるとともに、本県産の農林水産物の良さを知っていただく機会となっています。

また、来場者アンケートでは、98%の方が来年もフェアに参加したいとの回答であり、県民ニーズの高いイベントとして定着しています。



オープニングセレモニー



賑わう物販コーナー



ぬか漬けづくり体験

## “花半島事業フラワーフェスティバル in 美浜”が開催されました

平成 27 年 11 月 14 日(土)、15 日(日)の 2 日間、美浜町総合公園体育館において、「2015 花半島事業フラワーフェスティバル in 美浜」が開催されました。

このフェスティバルは、J A あいち知多花半島事業構想 を具体化した事業として開催されており、今回で 9 回目となります。

会場には、開催地の美浜町を始め知多半島 5 市 5 町が各々、地元で生産されている花をメインに特産品や地元の名所施設、キャラクターなどと組み合わせ、綺麗にディスプレイを施したブースを出展していました。



開催地 美浜町ブース



開会式 富谷実行委員長あいさつ

富谷茂寿実行委員長から「全国トップレベルの生産と品質を兼ね備えた、知多半島の特色ある花をより多くの方にお楽しみいただきたい。」と開会式あいさつが述べられ、美浜町制 60 周年記念行事と位置付けられたこともあり、2 日間で 12,000 人ほどの来場者に対して、知多半島が「花いっぱい運動」の推進の場であることを P R されました。

「花いっぱい運動」の啓発活動として、開催期間中、観葉植物ウィルマ、エリカ、セロームや切花などが先着来場者計 1,400 人にプレゼントされたり、多肉植物を観賞用ガラス容器内で栽培したテラリウムの体験教室が美浜町花き園芸組合女性部によって開催されました。

また、15 日(日)に併催された美浜町産業まつりでは、花きの即売や地元農産物の直売もあり、来場者は十分楽しんでいました。



会場正面のモニュメント

### 【 J A あいち知多花半島事業構想 】

花半島事業推進本部(事務局: J A あいち知多生活部、平成16年度設置)が中心となり、「知多半島をより一層快適な空間にしていくために、四季を通じて花の咲き乱れる地域を目指し、同時に、愛知県有数の花の産地である知多半島のイメージアップと、これらを通じて知多半島の農業振興・地域振興に寄与する」ことを目的に、知多半島 5 市 5 町及び J A の助成により運営。

## 農林水産祭「実りのフェスティバル」の開催

本県産秋冬野菜の出揃う11月、第54回を迎えた農林水産祭「実りのフェスティバル」が11月13日（金）14日（土）の2日間、東京都豊島区にあるサンシャインシティワールドインポートマートビルで開催されましたのでその概要を紹介します。

### イベントについて

本行事は、農林水産部門で優れた業績を挙げた団体・個人を顕彰する三賞（天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞）の受賞式典にあわせて毎年開催される行事で、昭和36年に始まり今年で54回目の開催を迎えました。「実りのフェスティバル」では、広く国民に農林水産業と食を理解してもらうため、これら三賞受賞者の展示コーナー、政府特別展示コーナー、都道府県技術・経営普及展コーナーなどが設けられていました。



会場の賑わい状況

参加した37都道府県の販売ブースでは、お国自慢の農畜水産物やその加工品が展示即売されており、キャンペーンレディやゆるキャラがイベントを盛り上げていました。

なお本イベントへの来場者数は2日間で51,000人でした（主催者発表）。

### 愛知県ブースでの販売PR

本県ブースでは、キャベツ、ブロッコリー、おおば、ふき、トマト、ミニトマト、次郎柿、ぎんなん、切り花（スプレーバラ、ピンポンマム）、シクラメン、うずら卵の燻製を販売PRしました。またミニトマトや次郎柿の試食を行い、購入された方には料理レシピを手渡ししながら本県産青果物やその利用方法をPRしました。来場者のなかには「毎年このイベントでシクラメンを買っていくんです。」と親しみを持って購入される方もいました。



あいちブースでの販売の様子

一方、本県が農業県（キャベツ、おおば、ふき、ぎんなん等の産地）であることを知らない来場者がまだまだ多くいることが感じられ、首都圏で本県産知名度を高めることの必要性が感じられました。



## 他地域のブースでの販売状況



北海道ブースではキャンペーンレディがPR



群馬県ブースではぐんまちゃんがPR

## 都道府県技術・普及展



愛知県の展示コーナー

本県は農業総合試験場が開発した切り花3点（写真左から、スプレー菊：スプレー愛知秋1号、スプレーカーネーション：カーネ愛農1号、バラ：愛知1号）を紹介しました。

## 内閣総理大臣賞受賞者の紹介



新美康弘・みどり夫妻（碧南市）

本県からは、園芸部門で碧南市でミニトマト農園を<sup>じいみ</sup>経営している新美<sup>やすひろ</sup>康弘・みどり夫妻が受賞されました。

## 愛知県内における中晩生かんきつの生産動向について

中晩生かんきつ(以下「中晩かん」という。)とは、冬から春ごろまでに収穫される、温州みかんを除くかんきつ類の総称で、収穫時期や外観、食味などに特徴がある様々な種類があります。近年、全国的な傾向として、これまで中晩かんの主力品種であった伊予柑やハッサク等の栽培が減少する一方で、「不知火(商標:デコポン)」や「はるみ」など、高糖度で食味の良い品種の栽培が増えています。これらの中晩かんは、良食味に加え皮がむきやすいなど、食べやすさの点からも消費者ニーズに合致しており、本県でも生産量が増加しています。

### 1 県内中晩かんの生産動向と地域ブランドについて

かんきつ栽培が盛んなJAあいち知多では、消費者ニーズに即した中晩かんとして、「不知火」や「はるみ」の他、「太田ポンカン」などが栽培されています。JAあいち知多で25年以上前から栽培している「太田ポンカン」については、更なるブランド化を進めるため、平成25年に愛称募集を行いました。多数の応募の中から、地産地消のイメージが高く親しみやすい、「ちたポン」(写真1)の愛称が選ばれ、商標登録されました。「ちたポン」は、1月下旬から2月中旬まで、中京圏をはじめ東京及び大阪の市場に出荷されます。



写真1 「ちたポン」出荷の様子

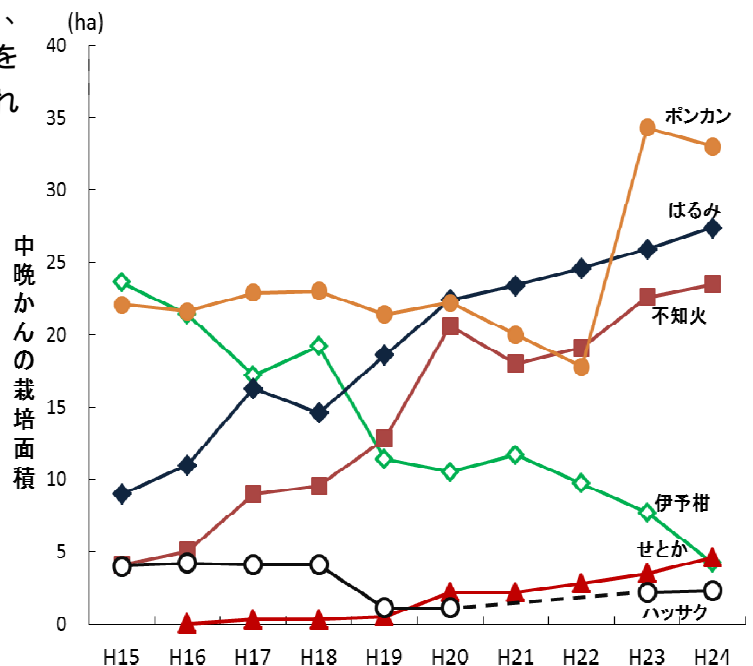


図1 愛知県産中晩かんの栽培面積推移

(出典: 特産果樹生産動態等調査)

また、県内最大のかんきつ産地であるＪＡ蒲郡市では、「不知火」や「はるみ」、「せとか」などが栽培されています。「不知火」については、一般的に、収穫から一定期間、減酸のため貯蔵した後に出荷しますが、ＪＡ蒲郡市では、施設栽培で出荷直前まで樹上に成らせ完熟させる特別な栽培方法を行っています。この特別に栽培した「不知火」に対し、「樹熟デコポン」(写真２、３)の愛称を付け、ブランド化を図っています。樹上で完熟することで品質が向上した「樹熟デコポン」は、市場関係者からも高く評価され、４月初旬から、中京圏及び東京市場に出荷されています。



写真２「樹熟デコポン」出荷の様子



写真３「樹熟デコポン」栽培風景

## ２ あいちのかんきつフェア

生産者団体の愛知県果樹振興会では、平成 25 年度から、県産中晩かんの知名度向上を図るため、３月の名古屋ウィメンズマラソンと同時開催の「マラソン E X P O」において、「あいちのかんきつフェア」に取り組んでいます。開催場所のナゴヤドームには期間中に、数万人が来場するため、県産中晩かんを P R する格好の機会となっています。

平成 26 年度は、ＪＡあいち知多及びＪＡ蒲郡市産の「不知火」と「はるみ」の試食宣伝を行うとともに、アンケート回答者への果実配付を行いました。当日、「あいちのかんきつフェア」のブースには長い行列ができ(写真４)、試食した来場者から、「甘くて美味しい。」「お店で見かけたら買ってみたい。」などの感想が聞かれました。愛知県果樹振興会は、本年度も引き続き県産中晩かんの知名度向上に取り組む予定です。



写真４ あいちのかんきつフェア

## 秋田県の園芸メガ団地育成事業（花き）の取組について

秋田県では、野菜や花きの産出額を飛躍的に向上させるため、園芸振興をリードする大規模な園芸団地（メガ団地）を整備し、園芸の大規模な経営体を育成するため、平成 25 年度に「園芸メガ団地育成事業」を立ち上げました。

現在、取組に意欲的な 5 地域 7 地区で団地整備を推進しており、園芸産出額を 10 億円程度増大（1 団地当たり販売額 1 億円以上）させる構想として取り組んでおります。

### 【花きのメガ団地の取組】

当初は野菜の取組が多いと想定していましたが、当県の花き販売額 1 位のキク類、2 位のリンドウ、成長著しいダリアに注目が集まり、事業に取り組む 7 地区のうち 4 地区でこれら花きの取組が実践・計画されています。

### 【若さが魅力の「男鹿・潟上地区園芸メガ団地」】

花きのトップバッターを切って平成 27 年度から生産がスタートした「男鹿・潟上地区園芸メガ団地」をご紹介します。

当団地では、平均年齢 31 歳の若い生産者 6 名（うち 4 名は新規就農者）が輪ギクと小ギクの栽培に取り組んでいます。平成 29 年度までに作付規模を露地 8 ha、施設 20 棟（0.7ha）とし、販売額 1 億円突破を目標にしています。

ハウス団地の両端に先輩の栽培者を配置することで、間に入っている新規栽培者への目配りがし易くなる等の工夫をしているほか、毎週金曜日に情報交換を行う「金曜会」を開催し、新規栽培者の技術的な疑問点や些細な不安でも皆で話し合い、解決していけるようにしています。



若い生産者で組織される「男鹿・潟上地区園芸メガ団地」



露地ギクほ場（H27 年は 2 ha。順次拡大予定）

### 【花き産地の拡大】

当県では、他 3 地区の花きのメガ団地も軌道に乗せ、高品質生産とマーケットインを重視しながら、花き販売額の飛躍的な拡大を目指しています。花き産地としてはまだまだ小さい秋田県ですが、園芸メガ団地育成事業を契機とした、花き産地の更なる育成・拡大を図ってまいります。

# 愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

## 名古屋市中央卸売市場（品目：れんこん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地
		うち愛知産		うち愛知産	
26年実績	2,775	1,425 (51%)	417	443	愛知 (51%) 茨城 (45%) 熊本 (3%)
27年見通し	2,800	1,540 (55%)	350	370	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内産の主な産地は愛西市。今年は台風の影響はなかったが、6月、7月の低温により生育不良が響き、結果的に平年から比べて、1割から2割作況が悪くなった。</p> <p>茨城産においても同じような状況により平年より作況が悪い。</p> <p>昨年は愛知産が近年にない大不作であった為、記録的な高値であったが、今年は平年並になりそうである。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>			<p>愛知産以外では茨城産が中心となる。</p> <p>例年どおり消費者からは愛知産の要望が多いが、足りない状況となっているので、今後も安定した生産、出荷をお願いしたい。</p>		

## 東京都中央卸売市場（サニーレタス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位4産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
26年実績	834	80 (10%)	344	412	福岡 (26%) 茨城 (26%) 千葉 (14%) 兵庫 (10%) 愛知 (10%)
27年見通し	870	-	300	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>サニーレタスの総入荷量は年々増加傾向であり、福岡や兵庫、香川など西南暖地で作付面積が増加、本年5月から前年以上の入荷が続いている。愛知県産は、生育良好で平年並の出荷を見込む。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込みである。</p>			<p>サニーレタスは業務需要のウェイトが高いことからシーズン契約や週間特注等の取引が年々増加傾向にある。そのためより一層の安定入荷が期待されることから、生産量の増加をお願いしたい。</p> <p>品質に関しては、大きな問題はないがボリューム感や色づけ等生産者間の格差是正に努めてほしい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し

名古屋市中央卸売市場

11月13日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	22年	35,413	197	199	192	201	北海道 26%
	23年	34,363	209	185	201	240	愛知 26%
	24年	35,377	216	186	213	239	茨城 9%
	25年	33,387	241	230	227	271	長野 4%
	26年	36,624	218	186	216	243	熊本 3%
	5ヵ年平均	35,033	216	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	35,800	212	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、北海道が中心となる。他、茨城、長野等から。 台風の影響を懸念されていたが、10月が好天であったため、生育は順調。12月は寒暖の差で価格等が左右される模様。 入荷量、価格ともに、前年をわずかに下回る見込み。							
だいご	22年	2,022	53	59	54	45	千葉 45%
	23年	2,206	60	57	61	69	愛知 36%
	24年	1,965	82	71	87	95	神奈川 6%
	25年	2,183	85	89	85	88	徳島 5%
	26年	2,247	63	57	58	79	静岡 4%
	5ヵ年平均	2,125	69	67	69	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,200	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、千葉が中心となる。他、徳島、静岡から。 台風の影響で出荷が遅れていたが、10月の天候が良かったため、潤沢な入荷になる見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
にんじん	22年	2,161	102	103	100	104	愛知 79%
	23年	2,045	110	111	111	113	岐阜 8%
	24年	2,072	106	95	109	115	熊本 5%
	25年	2,083	145	151	157	170	北海道 4%
	26年	2,114	92	92	87	103	千葉 1%
	5ヵ年平均	2,095	111	110	113	121	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,000	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知が中心となる。他、北海道から。 11月中旬から数が出てくる模様。順調な生育となる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

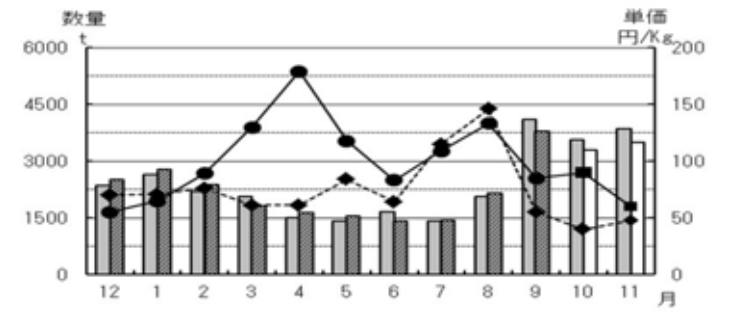
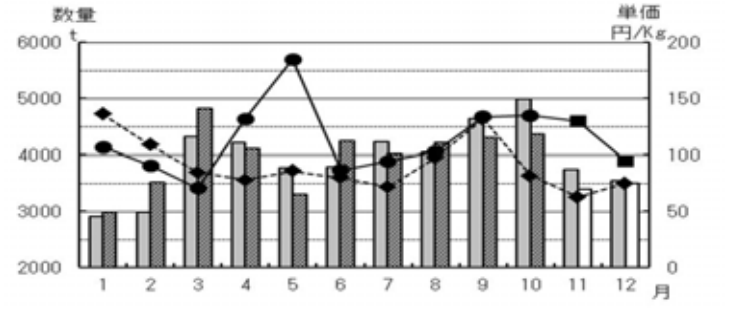
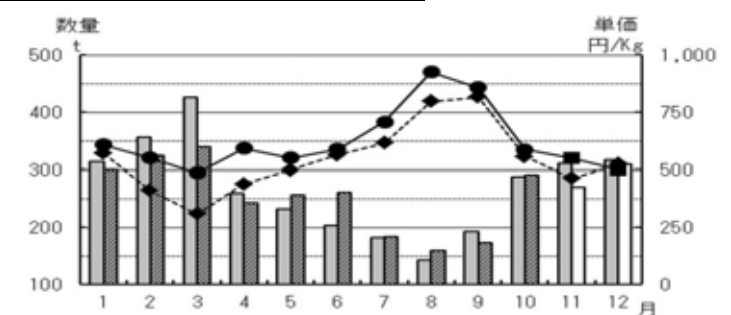
11月25日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	22年	133,394	212	205	200	229	千葉 22%
	23年	133,063	227	195	216	268	茨城 17%
	24年	136,938	244	209	241	281	北海道 14%
	25年	131,973	260	242	250	289	愛知 6%
	26年	137,555	241	195	238	290	
	計	5カ年平均	134,585	237	-	-	-
	27年見通し	137,500	232	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、茨城等関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。愛知県産はキャベツ、トマトなどの入荷が本格化する。関東、西南暖地産の作柄は良好だが品目によっては9月降雨の影響が残る。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
だいこん	22年	13,546	51	56	51	48	千葉 52%
	23年	12,402	59	52	56	67	神奈川 39%
	24年	13,297	82	67	77	98	茨城 4%
	25年	13,801	85	81	80	92	徳島 3%
	26年	14,661	57	46	50	75	
	計	5カ年平均	13,541	67	60	63	76
	27年見通し	14,300	58	50	50	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、神奈川からの入荷が中心となる。千葉は生育良好で順調入荷が期待できるが、多かった前年ほどではない。神奈川は9月上旬の降雨で播種が遅れたが、その後の好天で生育が進んだ。サイズは2L中心の見込み。</p> <p>入荷量は多かった前年をわずかに下回り、価格は前年並の見込み。</p>							
にんじん	22年	8,398	127	122	118	139	千葉 84%
	23年	8,685	99	87	95	114	埼玉 5%
	24年	8,866	124	112	119	137	茨城 4%
	25年	8,551	156	148	144	175	香川 3%
	26年	9,786	94	85	90	107	
	計	5カ年平均	8,857	119	110	113	134
	27年見通し	9,500	100	95	95	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉を中心に、埼玉、茨城などからの入荷となる。千葉は生育良好で順調入荷が期待できるが、多かった前年ほどではない。埼玉は天候不順の影響で生育が若干遅れ気味。</p> <p>入荷量は多かった前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	22年	3,741	57	56	58	56	茨城 44%
	23年	3,375	53	49	53	59	愛知 38%
	24年	3,440	62	52	65	69	兵庫 9%
	25年	3,374	77	70	76	88	宮崎 4%
	26年	3,864	48	44	46	56	岐阜 4%
	5ヵ年平均	3,559	59	54	59	65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	3,500	60	60	60	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城、愛知が中心となる。他、兵庫等から。 天候が良く、程よく降雨もあったため、作柄は良好な模様。安定した入荷となる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					 <p>ほうきの12ヶ月間の数量と単価の推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は12月まで増加傾向にあり、単価は4月と8月にピークを記録しています。</p>
キャベツ	22年	3,311	81	98	76	71	愛知 81%
	23年	3,468	75	64	74	90	茨城 17%
	24年	3,916	70	53	76	84	兵庫 1%
	25年	3,423	142	130	135	161	鹿児島 1%
	26年	3,555	75	59	78	87	
	5ヵ年平均	3,535	88	80	87	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	3,500	95	100	90	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地はほとんど愛知となる。他、茨城から。 9月の長雨で定植が2週間ほど遅れたが、11月下旬から12月中旬で回復する見込み。しかし出荷は不安定な模様。茨城は大雨の影響で1割ほど減少している。 入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					 <p>キャベツの12ヶ月間の数量と単価の推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は3月にピークを記録し、単価は5月にピークを記録しています。</p>
ほうれんそう	22年	404	375	409	365	351	愛知 70%
	23年	331	418	361	424	526	群馬 11%
	24年	265	625	658	724	567	茨城 7%
	25年	284	560	576	553	584	徳島 4%
	26年	317	525	396	563	702	福岡 2%
	5ヵ年平均	320	488	467	509	534	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	310	500	400	500	550		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知が中心となる。他、群馬等から。 9月中下旬から天候が良かったため、各産地で順調な生育となっている。12月中下旬は寒暖の差で量が左右されるが、堅調な入荷となる見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					 <p>ほうれんそうの12ヶ月間の数量と単価の推移。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は3月にピークを記録し、単価は8月にピークを記録しています。</p>



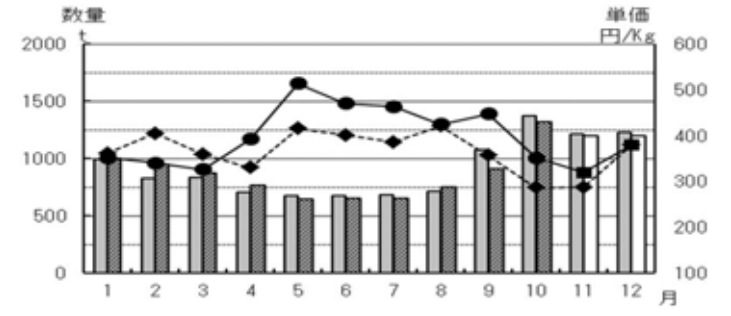
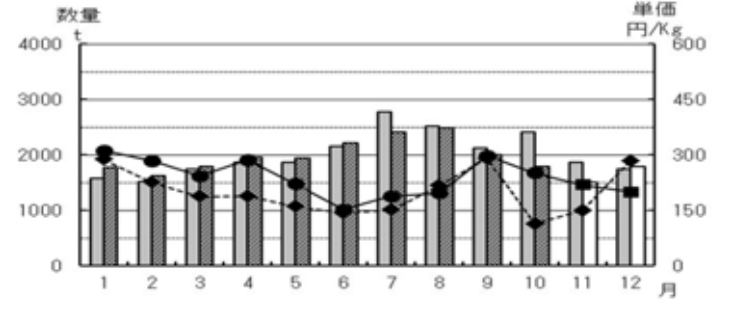
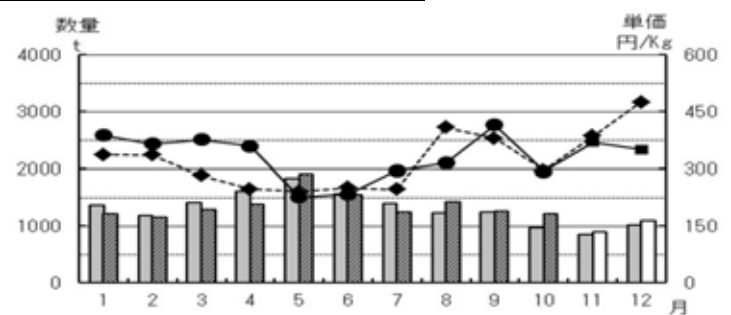
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)
			上旬	中旬	下旬	
ほう き さい	22年	13,904	48	51	47	茨城 93% 兵庫 3% 群馬 2%
	23年	14,086	36	34	40	
	24年	14,975	51	40	59	
	25年	15,181	69	61	77	
	26年	14,618	34	32	38	
	5カ年平均	14,553	48	44	47	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	14,400	48	43	47		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に兵庫、群馬から入荷する。茨城は9月の降雨の影響で定植作業の遅れ等がみられたが、その後の好天で生育は回復し、大玉傾向にある。 入荷量は前年並で、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>				
キャ ベ ツ	22年	13,051	83	97	73	愛知 41% 千葉 37% 茨城 10% 神奈川 8%
	23年	12,899	78	64	97	
	24年	13,729	79	59	83	
	25年	12,158	140	130	152	
	26年	12,921	77	58	80	
	5カ年平均	12,952	91	81	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	12,400	80	75	85		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、千葉、神奈川、茨城からの入荷が中心となる。愛知、神奈川は9月上旬までの天候不順で定植作業等の遅れと小玉傾向であったが、その後の好天で生育は回復傾向。千葉は生育は概ね良好。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>				
ほう れ ん そ う	22年	2,003	343	353	317	群馬 39% 茨城 17% 千葉 16% 埼玉 16%
	23年	1,555	414	332	368	
	24年	1,372	637	593	650	
	25年	1,479	559	535	533	
	26年	1,735	495	366	502	
	5カ年平均	1,629	478	425	461	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	1,700	500	400	500		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城、千葉、埼玉からの入荷が中心となる。群馬は10月の好天で生育初期のバラツキが解消し、前進出荷傾向。茨城は作付の増加で中旬頃から増量する見込み。千葉、埼玉は生育良好で順調出荷が期待できる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並の見込み。</p>				

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	22年	1,401	357	348	333	383	静岡 18%
	23年	1,361	297	287	281	331	大分 17%
	24年	1,316	357	316	350	407	愛知 13%
	25年	1,159	385	362	354	441	群馬 9%
	26年	1,231	380	321	372	445	長野 9%
ねぎ	5ヵ年平均	1,294	354	326	337	399	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,200	380	340	370	420	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は静岡、大分が中心となる。他、愛知、長野等から。 今後、秋田や富山、愛知が少なくなる模様。鳥取、大分、静岡は順調な出荷の見込み。また、関東から土付きのねぎも入ってくる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並の見込み。					
レタ	22年	1,909	141	160	130	136	兵庫 43%
	23年	1,706	227	158	209	311	愛知 12%
	24年	1,583	388	297	431	408	熊本 12%
	25年	1,630	318	289	289	368	長崎 10%
	26年	1,749	285	170	298	397	静岡 8%
レタ	5ヵ年平均	1,715	267	211	266	318	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,800	200	160	190	250	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は兵庫、愛知、静岡、九州地方が中心となる。 定植は順調である。また、前進出荷のため、年末に量が減少する模様。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
きゅうり	22年	1,163	335	267	305	447	愛知 43%
	23年	1,097	493	435	572	496	宮崎 23%
	24年	2,316	221	166	233	276	高知 16%
	25年	1,165	369	331	337	484	鹿児島 15%
	26年	1,026	475	346	504	613	熊本 1%
きゅうり	5ヵ年平均	1,354	349	283	359	428	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,100	350	330	330	450	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知、宮崎、高知が中心となる。 作付面積は前年比で、愛知は98%、宮崎は95%、高知は前年並と例年よりやや減少。定植後の天候が良かったため、生育は順調である。しかし現状は少なめの出荷量となっている模様。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	22年	5,860	266	265	252	277	千葉 25%
	23年	6,656	189	188	178	200	茨城 19%
	24年	6,382	261	247	251	283	埼玉 18%
	25年	6,341	254	236	223	297	群馬 15%
	26年	6,617	252	217	254	279	
5カ年平均	6,371	244	230	231	267		
27年見通し	6,300	260	250	260	270	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城、埼玉、群馬からの入荷が中心となる。千葉は生育良好で太りもよい。茨城、埼玉、群馬は9月の降雨と台風で一部生育遅れ等がみられたが、10月の好天で回復傾向にある。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
し た ス	22年	8,305	149	154	143	149	静岡 22%
	23年	7,754	230	165	209	310	兵庫 15%
	24年	6,643	396	289	445	437	長崎 14%
	25年	6,997	323	294	305	364	茨城 14%
	26年	7,282	280	157	298	389	愛知 3%
5カ年平均	7,396	269	208	272	322		
27年見通し	7,800	250	150	250	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、兵庫、長崎、茨城からの入荷が中心となる。各産地とも9月中旬までの天候不順で定植作業等の遅れや定植後の生育不良がみられたが、その後は好天に恵まれ順調に推移。潤沢な入荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
き ゆ う り	22年	4,809	354	289	316	466	宮崎 39%
	23年	4,341	520	449	606	515	千葉 21%
	24年	4,351	537	522	535	552	高知 17%
	25年	4,703	391	347	349	489	埼玉 11%
	26年	4,249	498	371	528	601	
5カ年平均	4,491	457	393	462	523		
27年見通し	4,500	407	320	400	500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、千葉、高知、埼玉からの入荷が中心となる。宮崎、高知は11月の曇雨天で生育停滞気味も概ね良好で今後の天候次第となる。上旬頃ピークがくる見込み。千葉は生育良好。埼玉は抑制栽培の終盤。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	22年	409	332	327	337	335	熊本 54%
	23年	386	370	349	383	407	愛知 40%
	24年	348	420	408	422	444	高知 5%
	25年	339	455	462	455	464	福岡 1%
	26年	312	444	427	441	486	
	5ヵ年平均	359	400	390	404	422	
す	27年見通し	350	410	390	410	430	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は、千両なすは愛知、長なすは熊本が中心となる。 愛知、熊本ともに、好天であったため順調な入荷となる見込み。また、12月上旬頃には出荷が落ち着いてくる模様。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					
マ	22年	855	300	302	286	310	熊本 47%
	23年	737	430	403	432	478	愛知 30%
	24年	823	418	416	429	419	三重 17%
	25年	873	427	459	426	406	岐阜 5%
	26年	962	360	345	348	389	高知 1%
	5ヵ年平均	850	385	384	382	398	
ト	27年見通し	950	350	330	340	390	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は熊本、愛知、三重が中心となる。 熊本は夏秋型の残りがあがるが、11月20日頃には終わり、秋冬型へ切り替わる。生育は順調で、愛知、三重も同様に順調である模様。関東の抑制物もあるが量は多くない。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。					
三	22年	309	548	543	521	583	熊本 54%
	23年	304	694	621	672	749	愛知 35%
	24年	322	703	715	702	672	和歌山 7%
	25年	334	753	834	729	698	宮崎 4%
	26年	363	620	594	614	665	三重 1%
	5ヵ年平均	326	664	662	648	673	
ト	27年見通し	360	630	560	610	660	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知、熊本が中心となる。 熊本は生育順調であり、着果も良好であるため、かなり多い数量となる模様。全体的に順調な生育である。 入荷量、価格ともに、前年並の見込み。					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	22年	1,722	420	400	426	436	高知 60%
	23年	1,720	474	436	476	530	福岡 19%
	24年	1,680	482	501	499	443	熊本 9%
	25年	1,649	533	580	515	498	佐賀 5%
	26年	1,592	536	492	527	604	
	5カ年平均	1,673	488	481	488	501	
27年見通し	1,700	460	400	460	520	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡、熊本、佐賀からの入荷が中心となる。高知は11月の曇雨天で生育停滞気味も概ね良好。福岡は生育良好だが作付面積は微減。佐賀は定植後の気温低下で収穫が遅れる見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	22年	4,807	345	337	333	366	熊本 46%
	23年	4,315	494	438	495	553	愛知 17%
	24年	4,865	450	451	455	443	栃木 11%
	25年	4,540	481	505	483	456	千葉 11%
	26年	5,204	398	375	401	421	
	5カ年平均	4,746	431	419	431	445	
27年見通し	5,100	347	290	350	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、栃木、千葉からの入荷が中心となる。熊本は生育は概ね良好で下旬頃ピークの見込み。愛知は天候回復から生育は概ね良好で順調出荷が期待できる。千葉は生育良好も多かった前年を下回る見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	22年	1,251	512	516	471	550	熊本 40%
	23年	1,238	677	597	683	749	愛知 22%
	24年	1,454	693	715	700	666	宮崎 11%
	25年	1,563	706	760	708	655	千葉 9%
	26年	1,598	609	573	607	649	
	5カ年平均	1,421	642	637	638	654	
27年見通し	1,600	600	550	600	650	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。各産地とも生育良好で大玉傾向であり、順調出荷が期待できる。熊本は作付面積が微減、愛知は前年並である。</p> <p>入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	444	338	322	356	340	宮崎 47%
	23年	391	456	461	454	500	鹿児島 40%
	24年	353	443	312	511	577	高知 13%
	25年	416	450	442	468	518	
	26年	428	461	377	476	630	
マン	5カ年平均	406	428	383	450	510	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	430	410	340	390	490	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は鹿児島、宮崎、高知が中心となる。各産地とも、昨年のように冷え込んでも影響は少ないため、安定した出荷となる見込み。単価は年末の入荷量によっては変動する可能性もあるが、現状は安定する模様。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。					
ばいしょ	22年	2,521	139	155	143	117	北海道 70%
	23年	2,792	97	96	98	92	長崎 30%
	24年	2,849	89	89	92	84	
	25年	2,761	100	113	106	85	
	26年	3,043	92	93	93	90	
いしょ	5カ年平均	2,793	102	108	105	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	3,000	95	100	95	90	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道が中心となる。順調な生産となっているが、現状単価は厳しく、動きも今ひとつの模様。12月は長崎からの入荷も開始する。入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。					
たまねぎ	22年	4,788	114	129	108	105	北海道 99%
	23年	5,031	81	86	86	80	中国 1%
	24年	6,287	66	67	71	69	兵庫 1%
	25年	5,249	112	123	125	133	
	26年	6,611	79	83	84	81	
ねぎ	5カ年平均	5,593	89	95	93	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	6,500	67	67	67	67	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道の貯蔵物が中心となる。他、兵庫や輸入から。12月も11月と同様に順調な入荷となる見込み。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	1,463	331	334	322	338	宮崎 36%
	23年	1,404	437	416	426	474	茨城 28%
	24年	1,353	459	305	526	591	高知 19%
	25年	1,530	458	426	464	489	鹿児島 16%
	26年	1,530	459	346	442	624	
	5カ年平均	1,456	429	366	435	503	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,600	417	300	450	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>宮崎、茨城、高知、鹿児島からの入荷が中心となる。宮崎は生育良好で中旬頃出荷ピークの見込み。茨城は生育は概ね良好で前年並の出荷を見込む。高知は曇雨天で生育停滞気味も着果状況は良好。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
ばいしょ	22年	7,062	149	156	147	145	北海道 82%
	23年	8,517	105	105	102	107	長崎 18%
	24年	9,217	94	92	93	98	
	25年	8,180	111	111	111	112	
	26年	8,861	95	94	93	97	
	5カ年平均	8,367	109	110	107	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	9,100	93	93	93	93	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、長崎からの入荷がほとんどを占める。北海道は貯蔵作業が終了、Lサイズ中心の仕上がり。前年をやや上回る出荷計画で安定した出荷を見込む。長崎は生育良好で前年並の出荷を見込む。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							
たまねぎ	22年	8,681	142	145	142	140	北海道 94%
	23年	9,921	90	89	91	90	中国 4%
	24年	11,682	73	71	73	76	
	25年	9,963	129	125	132	132	
	26年	11,033	86	85	87	89	
	5カ年平均	10,256	102	101	103	103	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	11,500	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は収穫作業が終了し計画出荷中。生育良好だったことからL大サイズ中心と大玉傾向の仕上がりで前年以上の出荷を見込む。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	22年	12,335	322	227	268	277	愛知 22%
	23年	13,474	295	290	326	352	静岡 20%
	24年	12,693	317	251	311	335	フィリピン 12%
	25年	11,803	332	260	343	358	和歌山 10%
	26年	11,654	337	290	362	381	長野 8%
	5カ年平均	12,392	320	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	11,100	350	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、りんご、かき、いちご等が入荷。今年は天候が良く、生育は順調であるが、前進傾向であるため、品種によっては端境期となり入荷は少なめとなる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年よりやや上回る見込み。</p>					
みかん	22年	5,636	241	236	238	247	静岡 38%
	23年	7,250	186	159	183	222	愛知 37%
	24年	6,043	221	201	210	247	和歌山 19%
	25年	6,144	228	216	234	232	長崎 1%
	26年	5,804	205	181	204	234	三重 1%
	5カ年平均	6,175	215	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,500	230	220	230	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、静岡、愛知中心となる。極早生から早生への切り替わりが早い。生育が良く、大玉傾向。Mサイズ、Lサイズが中心となる。前進傾向により数は少なめ。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
いちご	22年	628	1,581	1,255	1,492	1,881	愛知 59%
	23年	597	1,581	1,155	1,665	1,919	熊本 20%
	24年	532	2,108	1,744	2,178	2,266	鹿児島 6%
	25年	524	1,806	1,358	1,775	2,272	三重 6%
	26年	539	1,928	1,309	2,115	2,225	佐賀 3%
	5カ年平均	564	1,789	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	540	1,800	1,200	1,800	2,200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、愛知中心となる。天候が良く、前倒し傾向により、端境期になるおそれがある。また、生育も早いいため色付きが早く、小粒傾向になる可能性もある。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					



東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	22年	52,620	361	325	359	393	愛媛 25%
	23年	57,925	355	306	339	356	和歌山 13%
	24年	57,991	342	294	357	369	長崎 10%
	25年	55,770	354	326	372	362	熊本 8%
	26年	54,751	368	316	381	397	
	5ヵ年平均	55,811	356	-	-	-	前年及び本年の
	27年見通し	53,000	380	-	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
みかんを中心にりんご、いちごなどが入荷する。年末の贈答需要により上位等級品は荷動きが良いが、天候不良により下等級比率が高めとなる見込み。年末にかけて、みかん類や前進しているいちご類の品薄が懸念される。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
みかん	22年	29,766	264	259	263	269	愛媛 38%
	23年	36,856	228	211	227	239	和歌山 20%
	24年	35,940	253	243	251	260	長崎 16%
	25年	35,413	249	246	249	251	熊本 10%
	26年	33,133	234	211	394	251	
	5ヵ年平均	34,222	245	233	275	253	前年及び本年の
	27年見通し	32,000	250	250	250	250	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛媛は入荷量は前年を下回るが玉肥大は平年並。和歌山は小玉傾向であるが高糖度の仕上がり期待され、入荷量は前年よりやや少ない。長崎は秋口の天候不良により前年を下回る見込み。着果量は少ないが大玉傾向。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
いちご	22年	2,848	1,601	1,314	1,480	1,874	栃木 43%
	23年	2,719	1,574	1,199	1,563	1,939	福岡 18%
	24年	2,213	2,016	1,821	1,949	2,167	茨城 11%
	25年	2,469	1,766	1,402	1,726	2,122	佐賀 8%
	26年	2,667	1,946	1,451	1,970	2,287	愛知 2%
	5ヵ年平均	2,583	1,769	1,422	1,726	2,071	前年及び本年の
	27年見通し	2,650	1,950	1,500	1,700	2,000	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
栃木、福岡、茨城等から入荷。栃木は大雨の影響で定植作業が遅れた産地もあるが、天候回復により生育は順調。福岡は定植後の低温・乾燥で生育遅れが見られるが回復傾向。茨城は生育が前進しており小玉が増加傾向。 入荷量、価格ともに、前年並の見込み。							

# 切花・鉢花の12月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 11月29日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	22年	3,400	51	
		23年	2,982	48	
		24年	2,749	60	
		25年	2,914	53	
		26年	2,818	61	
	5ヶ年平均	2,973	54		
27年見通し	2,900	55			
概要	愛知、沖縄、三重等から入荷。白菊は渥美中心に黄菊は沖縄中心で、昨年は台風の影響で少なかったが、沖縄産が平年並に戻る。11月の気温が高かったこともあり、やや前進傾向にあり、前半は重い動きもあろうが、後半は堅調に推移すると思われる。				
小 ぎ	実績	22年	2,112	31	
		23年	2,328	29	
		24年	1,867	39	
		25年	2,449	29	
		26年	1,989	35	
	5ヶ年平均	2,149	32		
27年見通し	2,300	30			
概要	沖縄中心に愛知、奈良から入荷。昨年は台風の影響が大きく、極度の品薄であったが、今年は平年並に戻る。色的には黄の比率が高く、赤が少なめ。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	22年	1,482	32	
		23年	1,312	40	
		24年	1,291	42	
		25年	1,324	44	
		26年	1,280	48	
	5ヶ年平均	1,338	41		
27年見通し	1,300	40			
概要	愛知中心に長野、和歌山から入荷。9月が涼しく、10月前半に抑制がかかって、11月の天候がよく、集中出荷となった。そのため、12月は少し落ち着いた出荷となるが、秀品率は上がり、後半の年末需要には期待が持てる。				
か す み	実績	22年	205	64	
		23年	190	76	
		24年	170	104	
		25年	154	105	
		26年	180	106	
	5ヶ年平均	180	89		
27年見通し	170	110			
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。11月にかなりの量が出荷され、12月はやや少ない入荷で、後半までもつれ込めば、かなり高い値で動きそう。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	22年	437	188	
		23年	454	178	
		24年	480	174	
		25年	419	185	
		26年	431	185	
	5ヶ年平均		444	182	
	27年見通し		440	185	
概要	<p>オリエンタルは高知、埼玉、愛知、宮崎、新潟などから入荷。気温が高く、やや前進出荷。中旬はやや厳しい販売となりそう。20日過ぎから年末の動きはあるが、ピークは25日、28日の2回。L A、鉄砲も同じ状況で前半は少なく、中旬からやや多くなる。後半は入荷次第だが、価格は上がりそう。</p>				
洋らん	実績	22年	648	80	
		23年	600	100	
		24年	681	95	
		25年	672	105	
		26年	693	100	
	5ヶ年平均		659	96	
	27年見通し		680	100	
概要	<p>高知、徳島、鹿児島、静岡、愛知、輸入等から入荷。上旬は11月からの市況展開の余韻が残り、苦しい展開となるだろうが、中旬以降は全般的に品薄傾向で需要によっては堅調な動きとなる。</p>				
ばら	実績	22年	793	82	
		23年	786	84	
		24年	897	79	
		25年	884	77	
		26年	707	100	
	5ヶ年平均		813	84	
	27年見通し		800	85	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。気温が下がり、出荷は落ち着いたものとなる。クリスマス需要期の赤バラや赤SPバラはやや少なめだが、年末にはでてくる見込み。</p>				
枝も	実績	22年	5,580	43	
		23年	4,805	47	
		24年	4,964	52	
		25年	5,154	57	
		26年	5,099	57	
	5ヶ年平均		5,120	51	
	27年見通し		5,100	57	
概要	<p>茨城、兵庫、愛媛、和歌山、静岡、長野から年末花物が入荷。6,7月の天候により実物や姫南天は品薄となり、引き合いは強くなりそう。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	22年	10,244	683	
		23年	8,051	1,007	
		24年	9,874	929	
		25年	11,165	839	
		26年	8,522	936	
	5ヶ年平均	9,571	870		
	27年見通し	8,500	938		
概要	<p>入荷量は昨年並か。年々、原木の輸入量は減少傾向にあり、小鉢から中・大鉢と各サイズ共に減少の見込み。                      昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(71.8%)、2位鹿児島県(18.1%)、3位三重県(6.4%)となっている。</p>				
シャコバサボテン	実績	22年	19,127	435	
		23年	12,802	594	
		24年	17,871	438	
		25年	17,824	382	
		26年	13,693	350	
	5ヶ年平均	16,263	435		
	27年見通し	13,000	350		
概要	<p>入荷量は生産量減の為に昨年より減少か。需要期が前倒し傾向にあるため、価格面でも厳しいと予想。                      昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(76.2%)、2位埼玉県(19.4%)、3位静岡県(2.4%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	22年	708,373	377	
		23年	687,038	371	
		24年	718,558	360	
		25年	670,680	417	
		26年	622,950	402	
	5ヶ年平均	681,520	385		
	27年見通し	620,000	403		
概要	<p>入荷量は昨年並か。12月上旬に5号鉢を中心に入荷のピークを迎える。価格面では天候次第ではあるが、上旬～中旬にかけては安定の見込み。良品の少なくなる下旬にかけては厳しくなると予想。                      昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(31.0%)、2位長野県(18.2%)、3位群馬県(8.6%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	22年	148,386	2,509	
		23年	150,478	2,489	
		24年	134,328	2,473	
		25年	129,140	2,575	
		26年	125,977	2,319	
	5ヶ年平均	137,662	2,475		
	27年見通し	125,000	2,320		
	概要	<p>入荷量は昨年並もしくは減少か。理由としては生産終了などが考えられる。10月、11月の気温次第だが、今の所は順調で、当初晩生品種の作物で年越しになる物がいくつか見受けられたが追いついてきている状況である。今年の品質は全体的に良さそうな見込み。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知県（50.4%）、2位徳島県（10.3%）、3位高知県（6.8%）となっている。</p>			
カラッコエ	実績	22年	32,039	236	
		23年	34,644	202	
		24年	32,745	220	
		25年	39,366	193	
		26年	34,266	207	
	5ヶ年平均	34,612	211		
	27年見通し	34,000	206		
	概要	<p>入荷量は昨年並か。今年も花の咲き前の良い商品における引き合いが非常に強くなる見込み。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位岐阜県（69.8%）、2位埼玉県（25.1%）、3位茨城県（3.9%）となっている。</p>			
パンジ	実績	22年	558,913	49	
		23年	610,404	36	
		24年	524,640	44	
		25年	573,244	47	
		26年	473,076	28	
	5ヶ年平均	548,055	41		
	27年見通し	470,000	28		
	概要	<p>入荷量は昨年より減少か。10月中は入荷不足の為、相場は安定している見込み。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知県（37.5%）、2位奈良県（26.3%）、3位三重県（12.6%）となっている。</p>			

# 主要農林水産物の輸出入実績(2015年)

## 1 輸入実績

品名	9月						9月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	52,641	97.1	8,998,954	115.2	171	118.7	606,025	101	73,013,432	118	120	117
トマト	669	83.4	290,963	86.7	435	103.9	4,913	105	1,908,086	105	388	100
たまねぎ	21,382	81.0	1,258,762	86.8	59	107.2	242,495	98	12,986,411	108	54	110
にんにく	1,882	135.2	448,063	175.1	238	129.5	15,659	124	3,499,786	168	224	135
ねぎ	5,402	118.5	768,199	156.7	142	132.2	42,615	114	5,431,501	138	127	121
ブロッコリー	1,652	73.8	553,757	88.7	335	120.1	15,640	66	4,146,684	88	265	133
結球キャベツ	2,905	127.7	130,486	169.4	45	132.6	20,054	73	921,497	82	46	113
にんじん・かぶ	7,547	116.9	712,315	318.6	94	272.5	55,951	110	3,273,465	124	59	113
ごぼう	4,166	113.1	218,880	123.5	53	109.2	30,221	98	1,764,839	71	58	73
えんどう	23	322.9	12,777	465.8	565	144.3	622	115	265,565	144	427	124
アスパラガス	671	94.8	504,800	98.0	752	103.4	5,579	72	4,337,599	99	777	137
まつたけ	330	110.7	1,716,568	103.6	5,203	93.6	541	163	3,029,845	230	5,604	141
しいたけ	178	110.1	66,542	107.7	373	97.8	1,530	97	599,442	99	392	102
かぼちゃ	258	330.7	35,579	249.2	138	75.4	87,205	107	8,064,808	123	92	115
果実(生鮮・乾燥)	136,943	106.3	26,048,666	126.4	190	118.9	1,305,634	110	257,263,814	130	197	118
バナナ	85,729	106.6	9,979,919	129.2	116	121.2	725,566	113	77,331,591	134	107	118
パイナップル	10,349	86.3	935,479	102.2	90	118.4	115,114	100	9,825,519	116	85	116
レモン	4,335	77.1	703,927	85.4	162	110.7	40,410	123	9,148,604	148	226	120
オレンジ	7,864	113.2	959,545	113.8	122	100.5	72,706	109	11,154,653	116	153	106
グレープフルーツ	3,710	1131.0	328,145	1243.0	88	109.9	86,058	91	10,282,594	105	119	115
メロン	1,931	104.9	251,986	131.8	130	125.6	20,262	89	2,327,798	94	115	105
ぶどう	3,768	350.5	1,388,552	383.6	369	109.5	40,811	186	13,410,643	231	329	124
キウイ	7,158	98.9	2,317,085	109.6	324	110.8	70,396	139	24,562,169	137	349	98
いちご	692	97.5	803,144	110.1	1,160	112.9	2,100	140	2,401,446	163	1,144	116
切花(生鮮・乾燥)	4,888	100.5	4,532,175	107.0	927	106.5	30,775	114	29,123,474	125	946	109
鳥獣肉類	169,051	98.8	86,433,818	96.7	511	97.8	1,429,222	111	768,335,142	120	538	107
牛肉(くず肉含む)	46,131	87.1	29,086,652	90.8	631	104.2	371,809	109	256,776,402	138	691	127
豚肉(くず肉含む)	64,136	101.6	34,173,655	96.9	533	95.3	581,358	103	314,058,038	102	540	99
鶏肉	49,996	110.3	14,595,181	104.6	292	94.9	391,604	130	119,290,713	139	305	107
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	144,780	99.6	103,978,815	102.8	718	103.2	1,229,101	116	843,495,571	119	686	103
まぐろ類	22,049	110.5	20,613,462	109.0	935	98.6	151,996	113	149,182,500	123	981	109
さば・さんま・あじ・いわし	3,327	81.6	808,536	80.5	243	98.6	55,555	120	12,543,643	117	226	98

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	3,055	218.6	1,895,093	257.4	620	117.8	19,570	186	10,013,639	188	512	101
うんしゅうみかん	17	418.4	17,989	567.1	1,075	135.6	304	106	190,744	101	627	95
りんご	1,222	260.5	473,197	283.0	387	108.7	15,414	188	5,941,942	190	385	101
なし	959	479.5	494,267	570.4	515	119.0	1,186	200	617,221	185	520	93
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	450,705	147.3	-	-	-	-	3,098,004	140	-	-
緑茶	339	118.0	823,426	128.7	2,432	109.1	2,844	134	7,083,029	146	2,491	109

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

# 関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <span style="font-size: small;">(全国 平成22年 = 100)</span> <span style="font-size: x-small;">(愛知県 平成22年 = 100)</span>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年平均	102.8	99.3	105.8	106.8	112.3
	27年 6月	103.8	107.4	115.4	112.2	114.5
	7月	103.7	107.4	108.2	112.1	115.1
	8月	103.9	110.0	114.8	112.1	118.6
	9月	103.9	119.9	108.2	112.8	118.3
愛 知 県	25年平均	100.3	100.3	105.6	99.9	105.6
	26年平均	103.1	100.8	112.1	108.9	110.8
	27年 6月	103.8	110.8	113.5	115.1	114.6
	7月	103.6	112.6	111.4	114.3	113.1
	8月	103.9	115.8	119.4	114.8	119.4
	9月	103.8	124.3	109.9	114.9	116.8

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	25年平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	26年平均	102.2	98.8	97.8	93.3	118.4
	27年 6月	103.4	83.2	104.3	108.5	125.2
	7月	106.8	83.1	102.9	117.2	129.8
	8月	105.3	83.6	101.6	110.8	129.0
	9月	108.4	89.2	119.3	86.5	128.7

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシカ」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
25年平均	2,112	147	178	629	457	297	160	388	231	569	695	162	567
26年平均	2,109	170	190	661	481	321	162	376	276	581	695	162	545
27年 6月	1,855	177	303	837	407	438	166	430	297	489	626	168	684
7月	1,864	172	239	857	410	493	200	393	328	578	655	173	792
8月	1,855	181	259	811	559	438	205	439	344	565	614	185	-
9月	1,859	221	293	751	773	359	209	419	276	715	763	196	-
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(バラ)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
25年平均	581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	428
26年平均	584	336	437	174	240	824	530	166	175	336	228	825	440
27年 6月	-	384	485	-	259	901	523	171	172	335	226	908	467
7月	-	344	474	-	279	838	527	180	165	334	223	907	449
8月	-	321	471	-	293	917	532	185	199	336	231	951	436
9月	803	307	539	-	267	920	515	171	175	348	237	930	467

豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



## いいともあいち運動って知ってる??

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products ( **イート モア アイチ** プロダクツ )

= もっと愛知県産品を食べよう ( 利用しよう )

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 510  
平成27年12月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6421